DATA-DRIVEN SYMPOSIUM 2025 IN KUMAGAYA

熊谷スマートシティにおける
データ利活用の取組紹介

KUMAGAYA SMARTCITY

「熊谷市スマートシティ」について

2023年7月4日　市長が「**スマートシティ宣言**」を実施

目指すまちづくりの姿は

「やさしい未来発見都市　熊谷」

～デジタルと人の力で社会を前に進めていく～

人の力（市民参画）と**デジタルの力（データ利活用）**

により、まちの活性化及び地域の持続性を確保する





2023年7月4日
スマートシティシンポジウム

「熊谷市スマートシティ」で取り組む５つの分野

1 暑さに対応したまち

2 モビリティ

3 スポーツ・健康

4 安心安全・インフラの維持管理

5 産業ＤＸ



「公民連携」を重視しながら
多くの取組を展開中

市民向けデジタルサービスの中心

ＬＩＮＥポータルアプリ「クマぶら」

登録者数６万人を超えました！

豊富なメニュー

- 行政・イベント情報、クーポンの配信
- 地域電子マネー「クマPAY」
- コミュニティポイント「クマポ」
- コミュニティバスのスマホ回数券
- マイナンバー公的個人認証による
  図書館利用登録機能
- 暑さ対策スマートパッケージ　等





ＬＩＮＥポータルアプリ「クマぶら」

折角の機会ですので

クマぶら６万人の登録状況について

ＢＩツール「Ｔａｂｌｅａｕ」を

使って説明します



市民向けデジタルサービスの中心

ＬＩＮＥポータルアプリ「クマぶら」



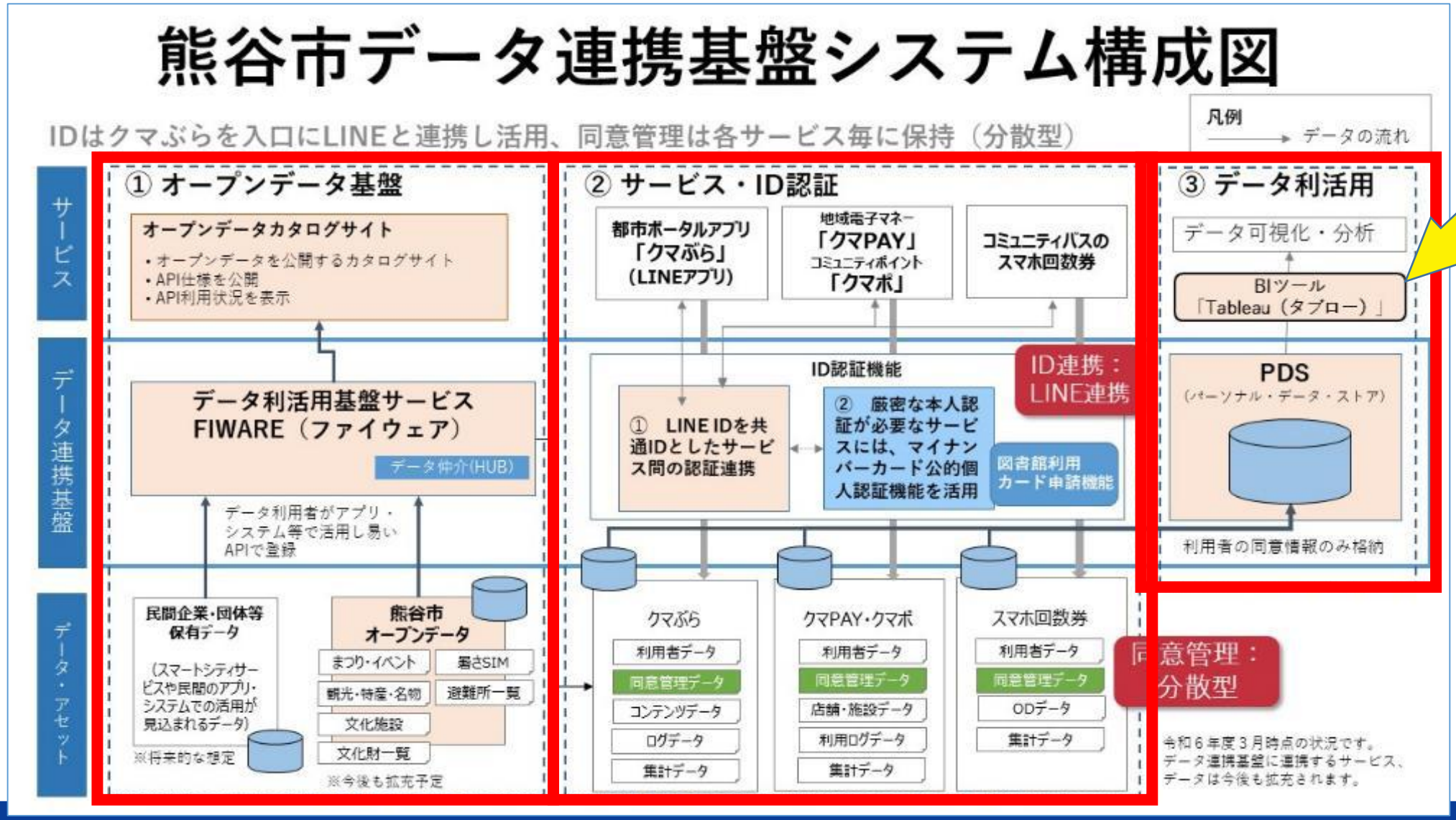
２０２３年（令和５年）

「**データ連携基盤**」の整備・運用を開始

「クマぶら」上の主要サービスの

利用データを、蓄積・活用する取組を開始した

熊谷市のデータ連携基盤とデータ利活用の位置づけ



データ連携基盤から得られるサービス利用データの可視化・分析を、職員自ら内製化できるようになることが目標

Ｔａｂｌｅａｕ（タブロー）の導入状況

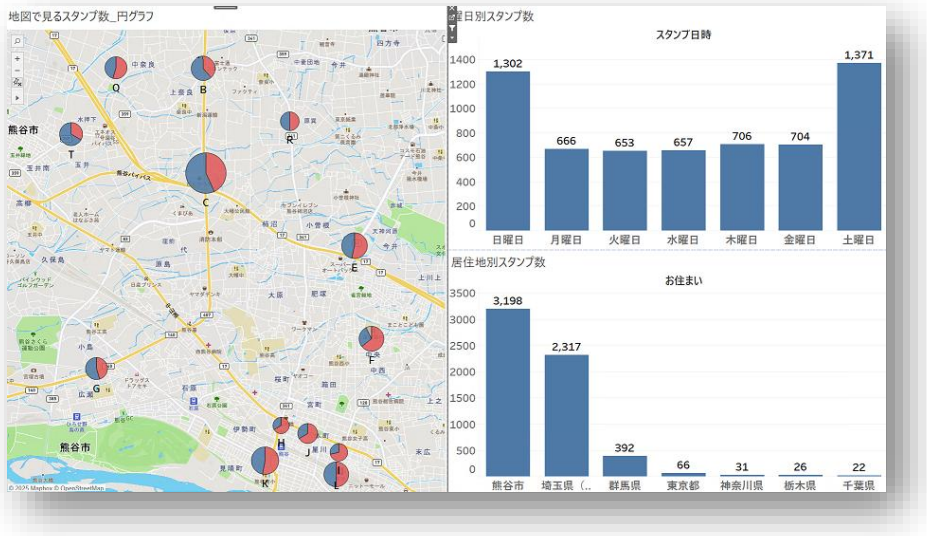
２０２５年度は、１１の課で運用中

【導入している部門】

企画・財政、総務（人事、税）

スポーツ、市民部門、環境

商業観光・施設管理



各部署が保有するデータの可視化・分析に活用中

【庁内活性化に向けた取組】

Tableau Café（タブローカフェ）



Tableauは、全部署で活用可能な

汎用スキル。もっと盛り上げるには、

職員が「気軽に相談できる場所」

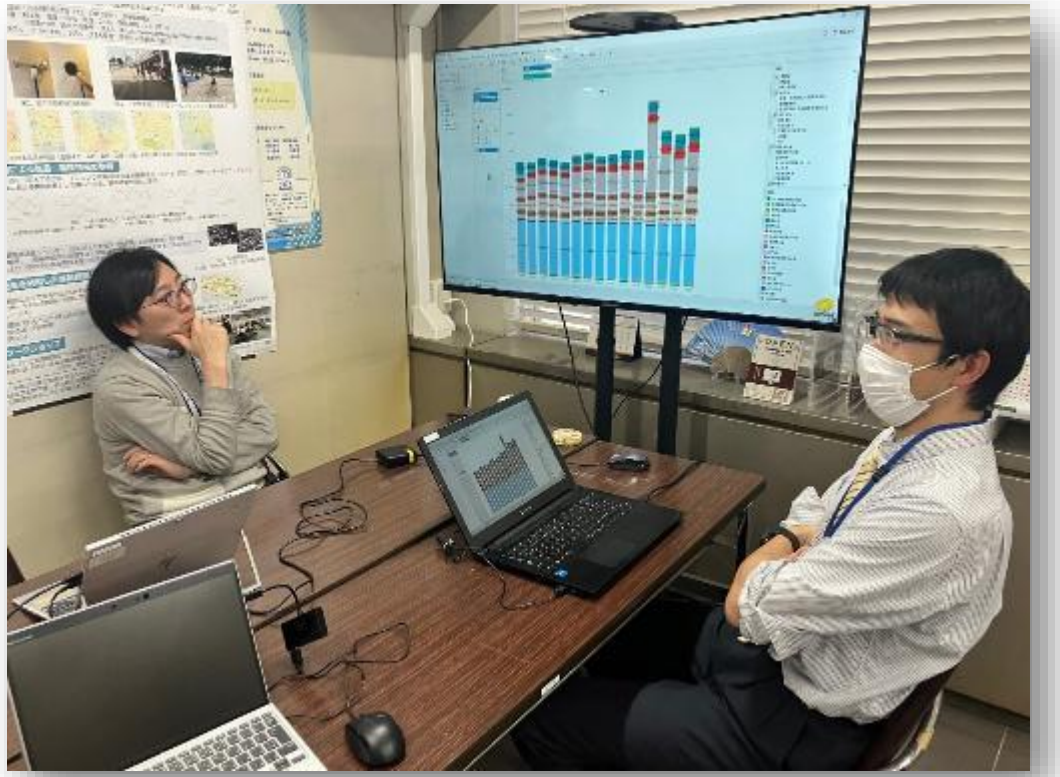
が必要なのではないか？

２０２４年4月

いつでも・誰でも・気軽に

カフェのように気楽に訪れられる相談窓口を庁内に設置

実際のタブローカフェの様子



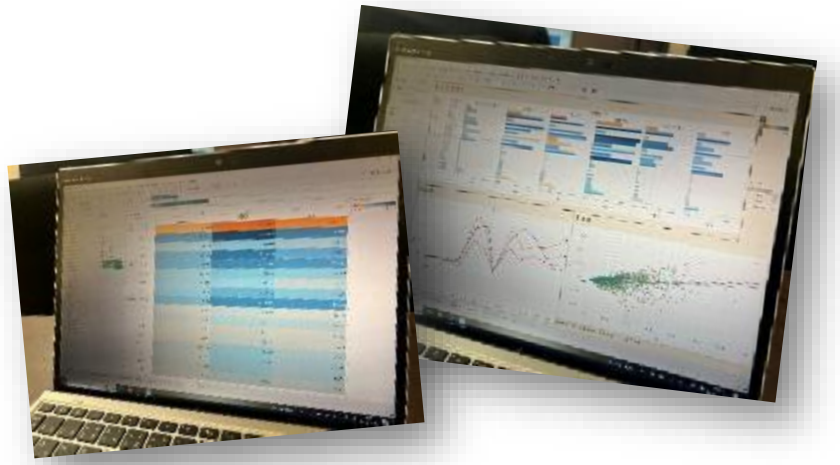




データを囲んでいつも自由に語り合っています。
コーヒーも出ませんし、Café感はあまりないですが……

【庁内活性化に向けた取組】

Tableau 操作研修の実施





毎年度、外部の研修講師に依頼し、
Tableau導入部署の職員を対象とした
操作研修を実施。

**今年度は、本日のデータハッカソンでの
プレゼンを研修の成果発表に位置け。**

【公民連携・人材育成の取組】

データ活用に関する地域の学校との連携

アルスコンピュータ専門学校 様との連携

「スマートシティ連携データ等に関する連携協定書」を締結

立正大学 様との連携

データサイエンス学部教授を市の**チーフアーキテクト**に招聘

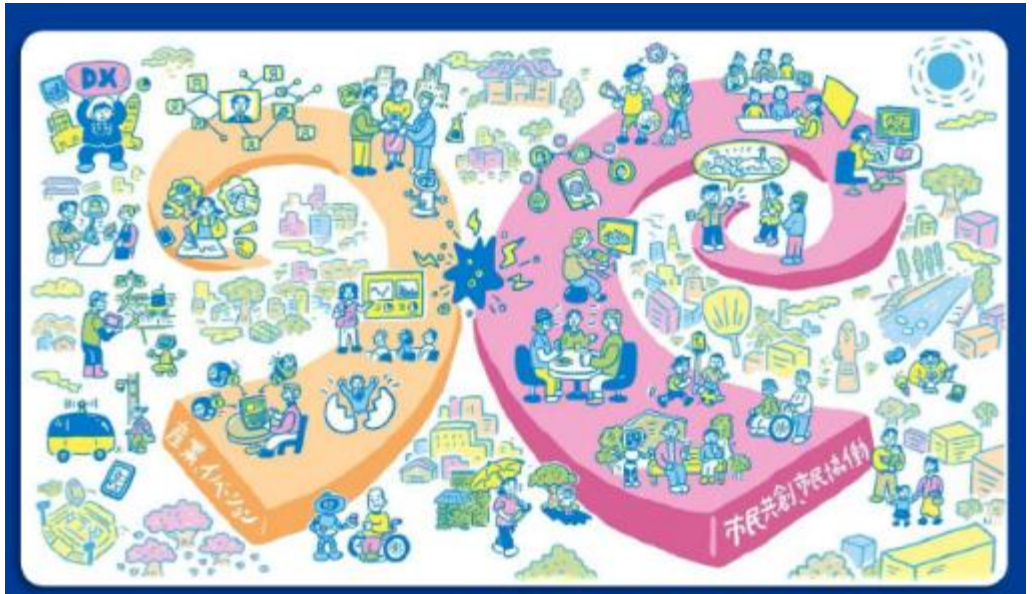
【公民連携・人材育成の取組】

熊谷コミュニティラボ

ＷＥＢコミュニケーションツール
「**Ｓｌａｃｋ（スラック）**」を活用し、
誰でも自由に参加でき、ＷＥＢ上で
職員や他の参加者と語り合える場を提供。
データドリブンをテーマにしたチャンネルも設けている。

皆様もぜひご参加ください！！

詳しくは、熊谷市ホームページへ



コミュニティラボコンセプトビジュアル


実際のコミュニティラボのイメージ

【公民連携・人材育成の取組】

地元高校生によるＧＩＳ活用ワークショップの開催

地元県立高校の高校生と連携し、

３Ｄ都市モデルデータやＧＩＳを活用して、

地域課題の解決策を研究するワークショップ

を毎年度開催している。



若い世代に、地元に関するデータの利活用を通して、

地域課題の解決能力を育成する機会を提供

まとめ（課題認識や今後について）

- 現在のところ、Tableauは庁内での意思決定等に活用することが中心で、市民等への公開は行っていない。今後は、先進事例を参考に、可視化した成果を公開する手法も研究していきたい。
- 職員のTableau活用スキルの維持・向上のためには、Tableau caféの活性化を始め、担当職員の人事異動リスクへの備えてについても検討が必要。
- 民間保有データ活用の幅を広げるとともに、オープンデータの充実や地域を巻き込んだ活用方法についても検討したい。

まとめ（課題認識や今後について）

本シンポジウムで得られる知見を参考にしながら
今後も公民連携の輪を一層広め、
データドリブンな地域を築いていけるよう
これからも頑張ってまいります！

KUMAGAYA SMARTCITY

ご清聴ありがとうございました

DATA-DRIVEN SYMPOSIUM 2025 IN KUMAGAYA